



©Basel Tourismus

人口 20 万都市の挑戦

あと 13 年でどう達成するのか？

第 11 回 SJS 交流ウェビナー **2037 年気候中立**

～バーゼル・シュタット準州の気候・エネルギー政策を聞く～

バーゼル・シュタット準州は、スイス北部の人口 20 万人の経済や産業の盛んなスイス第 3 の都市。1970 年代に原発不使用を決めて以来、欧州でも最も先進的なエネルギー政策を打ち出し続け省エネ・再エネ拡張に取り組んできました。電力については既に 100%再生可能エネルギーによる供給が行われています。さらに 2022 年、住民投票により 2037 年に気候中立を達成することを決定。本講演では、あと 13 年でどのように脱オイル・脱ガスを達成するのか、州の環境エネルギー局長に現状、戦略や課題について現場の声を伺います。

- ・バーゼル・シュタット準州の脱原発と 100%再生可能な電力
- ・ヨーロッパ・エナジー・アワード (EEA) ゴールド都市
- ・既に実行中の脱オイル政策とこれからの脱ガス
- ・人口 20 万都市の気候中立へのチャレンジ



バーゼルシュタット準州 環境エネルギー局長

講師：マティアス・ナブホルツ氏 

バーゼル生まれ。スイス連邦工科大学チューリッヒ校で環境自然科学を修める。スイスで様々な職を経験した後、2006～14年に南米でスイス連邦による開発援助に携わり、主に開発途上国や新興国の 40 以上の都市で環境・エネルギーのコンサルタントを行い、2014年から現職。

Zoom オンラインセミナー
6/28 金 18:00～19:30

【定員 500 名・参加無料】

お申し込みは SJS の HP から ▶▶▶▶

<https://sjs-webinar.com/>

お問合せ: info@sjs-webinar.com.com

